特別講演会のお知らせ

演題：代謝経路を制御し、難治性てんかんを制御する。

演者：井上　剛　先生

（岡山大学大学院医歯薬総合研究科　准教授）

日時：平成26年9月8日（月）14：00～15：30

場所：北海道大学薬学部1階　臨床薬学講義室

主催:北海道大学大学院薬学研究院　日本薬学会北海道支部

共催：日本生化学会北海道支部

北海道分子生物学研究会

概要

てんかんは全人口の約１％を占め、しかもその約３割には既存のてんかん治療薬が奏効しない。この「難治性てんかん」に対する新たな治療薬が、現在渇望されている。一方、てんかんに対する食事療法として、「ケトン食療法」が約１００年前に開発されたが、これは現在でも治療薬が効かない難治性てんかんに効くことが知られている。すなわち、ケトン食療法が、既存のてんかん治療薬にはない作用機序を持つのは間違いない。そして、ケトン食療法を模倣するてんかん治療薬が開発できれば、その利用価値は極めて高いと想定される。

これらを踏まえ我々は、ケトン食療法を模倣するてんかん治療薬の開発を目指し、電気生理学的手法を軸とした基礎研究を進めている。現在、ケトン食療法を模倣できる生体内分子（創薬標的分子）として乳酸脱水素酵素を同定し、さらにその創薬標的分子に作用する既存医薬品（リード化合物）を同定するに至っている。

連絡先：北海道大学大学院薬学研究院　神経科学研究室
鈴木利治
（TEL：011-706-3250）